

中海エコ活動レポート[®]

中海を丸ごと楽しむ 第2回中海バイク＆ラン♪



スタート地点（夢みなとタワー）

平成28年10月8日、夢みなとタワーをメイン会場に「第2回中海バイク＆ラン♪」を開催しました。

このイベントは、ラムサール条約の趣旨であるワイスユース（賢明な利用）の推進を目的に、サイクリングとランニングを通じて中海に親しんでいただくため、平成27年から行っているものです。

スタンプラリー方式で米子水鳥公園や江島大橋などのポイントを巡り、鬼太郎ロードには「中海の恵み特別メニュー」が、ゴール地点には地元の果物や甘みが勢揃いしました。

今回は、鳥取市出身で元バレーボール日本代表の山本隆弘さんをゲストにお迎えし、ママチャリに乗った家族連れから本格的なサイクリストまで、多くの方が参加されました。

参加されたみなさまには、景観やグルメなど、走って、観て、味わって、中海を丸ごと楽しんでいただきました。



江島大橋付近

- 中海バイク＆ラン♪
- 中海産の「赤貝」復活へ
～養殖試験の展望～
- 中海の植物プランクトンにズームイン

- Jrレンジャークラブのメンバーを募集します
- 中海の魚(ボラ)を食べて中海浄化
- 中海自然再生協議会公募委員の募集

宍道湖・中海ラムサール条約
シンボルマーク

サルボウガイは、中海周辺の地域では「赤貝」とも呼ばれ、「赤貝の殻蒸し」など、中海の冬の味覚として親しまれています。寿司ねたによく使われる赤貝とは別種です。

中海の赤貝は、かつては中海の主要な水産物であり、日本有数の漁獲高を誇っていました。漁師さんたちは、そりこ舟をゆすりながら桁曳網を引いて舟いっぱいの赤貝を探っていたそうです。

中海の赤貝は、戦前から年によって漁獲量が大きく変動していましたが、昭和52年を最後に採れなくなりました。

島根県水産技術センターでは、中海の赤貝復活に向けて中海漁協や松江市と連携し、平成24年度から中海沿岸の12カ所の養殖場で試験に取り組んでいます。

試行錯誤の結果、稚貝をかごに収容し海中につるす「かご吊り」という養殖法を確立しました。餌となるプランクトンが豊富な深さに吊るすため、身がしっかり詰まっており、味も濃厚です。砂地で育っていないため、砂かみもありません。

生産量は年々増え、今年度は6トンになる見込みで、松江市、安来市の道の駅などで販売しました。

平成26年までは天然で発生した浮遊幼生が吊した古網に付着するのを待つ「天然種苗」を行っていましたが、年により付着する量にはばらつきがありました。生産量の増加にともない稚貝を安定して供給することが必要となったため、水産技術センターで人工種苗を拡充し、これまでの数十万から一千万個程度まで増やしました。これにより、養殖試験から産業として成り立つ可能性が見えてきました。

今後、さらに生産量が増えれば、サルボウガイが海水中のプランクトンを取り込む量が増え、中海の水質の浄化に貢献することが期待されます。

養殖技術は徐々に向上しています。殻に付着するフジツボ等を除去することが最大の課題となっているため、引き続き除去作業を軽減するための対策を検討し、良質なサルボウガイの育成技術の確立に努めています。



サルボウガイ（地方名：赤貝）



天然種苗



すいか
稚貝の垂下準備



養殖管理



出荷作業

■島根県水産技術センター内水面浅海部浅海科
〒690-0322
松江市鹿島町恵雲530-10
TEL：(0852)-82-0073
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

当研究所では毎月中海湖心の表層水を採取し、出現する植物プランクトンの顕微鏡観察を行っています。

植物プランクトンとは水中に浮遊する藻類のこと、中海ではほとんどが顕微鏡的な大きさの小さな種類です。今回は、中海に出現する代表的な植物プランクトンの一部を紹介します。

1 赤潮の犯人

うずべんもうそう

渦鞭毛藻類 (*Prorocentrum*属)

中海でしばしば大増殖し、赤潮を引き起します。植物と同じように光合成をします。写真には写っていないませんが、動物のように鞭毛を持って遊泳します。

Prorocentrum minimum



10μm



2 しじみのごはん

けいそう

珪藻類 (*Cyclotella* sp., *Skeletonema costatum*)

珪藻類はヤマトシジミの有効な餌になるとされています。葉緑体は褐色、殻（細胞壁）はガラス質で湖底に堆積するものが多く、堆積物中の珪藻の殻の分析は、昔の環境を知る手がかりになります。

Cyclotella sp.



10μm

Skeletonema costatum



10μm

■島根県保健環境科学研究所

〒690-0122 松江市西浜佐陀町582-1

TEL (0852)-36-8181

<http://www.pref.shimane.lg.jp/hokanken/>

Jrレンジャークラブのメンバーを募集します

米子水鳥公園

米子水鳥公園 Jr (ジュニア) レンジャークラブは、環境保全に关心がある中学生、高校生が集まり、公園の運営のサポートや中海周辺の自然に親しむ活動を行っています。

平成21年に、それまで小学生を対象とする「米子水鳥公園子どもラムサールクラブ」で活動していたメンバーが中学生になり、卒業後も関わっていきたいと有志が集まったのをきっかけに結成されました。

平成28年度は中学生と高校生計17名が毎月1回活動しており、活動内容はメンバー自ら企画、立案しています。

平成28年度は、公園内にカワセミの人工巣壁を作ったほか、サツマイモを作ったり、来館される方々に望遠鏡の使い方や野鳥の種類を解説したりと、多様な活動を行いました。

このほか、鳥取県の「中海湖沼環境モニター」としても活動しており、毎月、中海の水質を調査しています。

現在、平成29年度のメンバーを募集しています。詳しくは米子水鳥公園にお問合せください、米子水鳥公園のホームページをご覧ください。

■お問合せ先

〒680-0855

米子市彦名町新田665 米子水鳥公園 担当：米田

TEL：(0859)-24-6139 電子メール：info@yonago-mizutori.com

<http://www.yonago-mizutori.com/>



人工巣壁作り



サツマイモ畠で収穫記念

■申込み期限 平成29年4月2日（日）

中海のボラの漁獲量はスズキに次いで多く、平成22年の統計では13トン強でした。

ボラは年中捕れますぐ、臭みがあるというイメージが根強く、食卓に上がることはほぼありません。そこで中海のボラを多くの人に食べていただくための活動を始めました。

平成28年11月に試食会を行い、ムニエル、あら炊き、南蛮漬けなど、臭みがなくおいしいとご好評をいただきました。

中海の幸を食べると中海の栄養を外に持ち出すことになり、富栄養化を防ぎ、浄化に役立ちます。

みなさんも是非、中海の食材を食べてください。

■米子工業高等専門学校 物質工学科

〒683-8502 米子市彦名町4448

TEL (0859) - 24-5162

あら炊き



ムニエル



中海自然再生協議会(第6期)公募委員の募集について

「自然再生推進法」に基づき平成19年6月に設立された「中海自然再生協議会」は、専門家、行政機関、公募委員などで組織され、その委員は2年ごとに改選されています。これまでのところ平成20年に中海自然再生全体構想を、平成23年度に第Ⅰ期実施計画を策定、平成24年度からは4つの事業が5カ年計画で始まっています。

このたび、「中海自然再生協議会（第5期）」委員の任期が平成29年3月31日で満了することを受け、第6期の公募委員を下記のとおり募集します。第Ⅱ期の自然再生事業を開始する節目の協議会となりますので、多くの方々からの応募をお待ちしております。

記

1 主な活動内容

自然再生推進法に基づく中海自然再生事業の実施状況の確認と討議、適切な助言や提言の実施など。

2 任期

平成29年4月1日から平成31年3月31日まで

3 応募資格

協議会の会議（年4回程度）に出席し、討議に参加できる人又は団体

4 報酬・旅費

支給なし

5 応募期間

平成29年3月1日から3月31日まで

6 応募方法

誤りを避けるため、電子メール、ファクシミリまたは郵送での応募に限ります。

「応募申込書」として、中海に関し関心を持っている事項のほか、氏名、年齢、性別、所属、住所、連絡先（電話、ファクシミリ、電子メール等）を記載し事務局までお申し込み下さい。

7 申込み・問合せ先

認定NPO法人自然再生センター

〒690-0064 松江市天神町114

TEL : (0852) - 21-4882、ファクシミリ (0852) - 61-0900

電子メール : info@sizen-saisei.org

<http://www.nakaumi-saisei.org/>



子どもたちとオゴノリ採り

編集・発行者

鳥取県西部総合事務所

生活環境局環境・循環推進課

鳥取県米子市糀町一丁目160

電話 (0859)31-9322

E-mail : seibuseikatsukankyo@pref.tottori.lg.jp

Homepage : <http://www.pref.tottori.lg.jp/>

dd.aspx?menuid=69208

島根県環境生活部環境政策課

宍道湖・中海対策推進室

島根県松江市殿町1番地

電話 (0852)22-6445

E-mail : kankyo@pref.shimane.lg.jp

Homepage : <http://www.pref.shimane.lg.jp/>

記事募集

中海エコ活動レポートに掲載する記事、イベント情報、写真を募集しています。

詳しくは、左記連絡先に連絡していただけます。

なお、出来る限り電子データで御投稿をお願いします。